

◎教育長(柿塚純男君) 熊本の代表的な史跡の一つであります鞠智城の歴史的価値を子供たちが学ぶことは、郷土への誇りはもとよりでございますが、我がふるさとを愛する姿勢醸成につながるものと認識をしております。国営公園化への取り組みを機に、多くの子供たちがふるさとの歴史文化を学んでほしいと考えているところでございます。

県教育委員会では、本年度、子供たちが生きた歴史を体験できる野外学習の場として鞠智城を積極的に利活用するよう、各学校や社会教育施設等へ通知するとともに、教育関係機関の会議あるいは研修会等、さまざまな機会を通じて、鞠智城国営公園化の取り組みの趣旨及び史跡の利活用について要請を行ったところでございます。

また、小学校等で実施されております社会見学や集団宿泊教室等の機会を利用し、その移動経路の中での見学場所の一つとしても提案しており、今後とも、市町村教育委員会の御協力を得ながら、子供たちへの教育活動の中で、鞠智城が大いに利活用されるよう積極的に取り組んでまいりたいと考えております。

〔瀧上陽一君登壇〕